

⑤ 項目ごとの検索による学科の特徴の確認

③で検索した情報は個々の高校ごとに調査したものであるが、④と同じように強制的に生徒に画面を送るLANシステムを利用して、一つの項目については学校別の比較が検索できることを知らせた。生徒たちからは、「はじめから教えてくれればよかったのに」という声もあがったが、その便利さに驚いていた。

抽出生徒A男(上位)
操作もスムーズになってきて、項目ごとの情報を次々と取り出した。

抽出生徒F子(下位)
この操作の方が簡単だったとまわりの級友に話かけ同意を求める。操作は順調である。

⑥ まとめと学習予定

進路を決めていくうえで、進路情報が非常に重要であることを認識させるために、2年生では、「高校の特色」「その他の教育機関」「自分の特色を知る」。3年生になっては、「進路選択のための条件」「進路先の調査」「進路の決定」等を学習していくことをまとめて話したが、生徒の表情は皆真剣そのものであった。

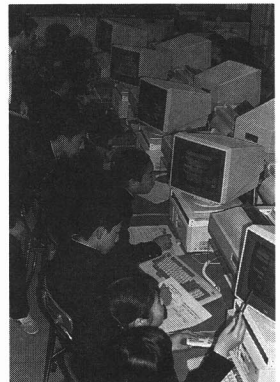
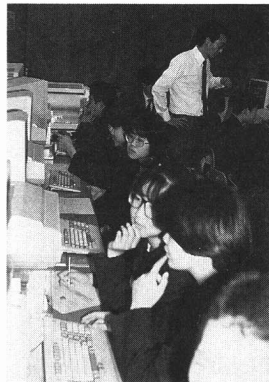
⑦ 授業後の感想文から

生徒たちは熱心にコンピュータからの検索を行い、感想文などから判断すればコンピュータに対してきわめて良い印象をもったようである。

T彦・H(事前3.8 事後4.3)
驚いたことは画面のきれいさだった。それにコンピュータは自分の知りたいことが何でも分かっているように思う通りに出てきたことだ、感動だった。……

M代・A(事前3.3 事後3.5)
……中学年では福島県で初めてコンピュータ室を使うとかいわれた。いろいろな先生方なども来て、写真やビデオをとっていたので少し緊張したが、みんなとても楽しくやっていたと思う。それにこれからのことを考えて、自分で調べた高校の特色など、いろいろな情報を集めることができ良かった。でも、もう少し時間をかけてゆっくりとやってみたかった……

S子・I(事前2.7 事後3.0)
私はパソコンとかコンピュータを使うのは、今まで一度もなかった。それだけに授業に対する不安もたくさんあった。けれども、当日説明を聞いて、それから実際にいじってみて、そんな不安は全くなかった。美しい画面や文字など本当に驚くものばかりだった。……中略……高校についてのいろいろな情報もすていとおもった。なぜならキーボード一つで自分の知りたかったことがすぐわかるからだ……



授業風景

(3) 授業分析と考察

① 評定尺度Ⅱの評定値でみると、上位、中位、下位と分けていた抽出生徒の自己評価から、事後の変容は図-10の左に示すように下位に行くほど大きかった。

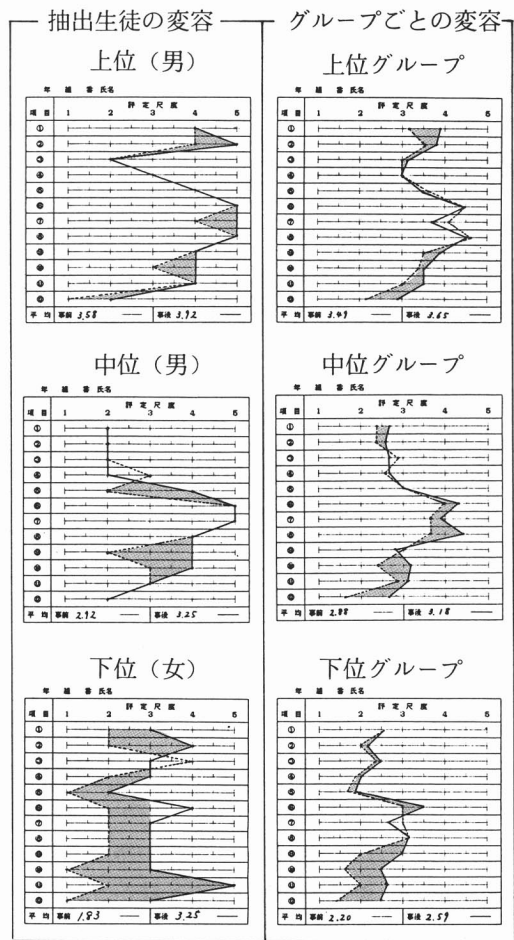


図-10 上位、中位、下位生徒の変容